

子どもの貧困と自立支援

子供の貧困や生活困窮者自立支援法のこと

講師：大山典宏さん 社会福祉士

生活保護のケースワーカーや児童相談所の児童福祉士などを経て生活保護受給者の自立支援の担当も経験。著書に『生活保護 VS ワーキングプア』『生活保護 VS 子どもの貧困』『隠された貧困』などがある。

日 時 2015年6月14日（日）14時から

場 所 さいたま市 さいたま共済会館602

資料代 500円（賛助会員は無料）

5月5日の子供の日、朝日新聞は「子どもの貧困 大人一人ひとりが動こう」との社説を掲げ、16.3%という子供の貧困率は日本の子供の今を考えるにあたって見逃せない数字という。

そして社説は小見出しに「不十分な政府の対策」「おせっかいの勧め」「支える連鎖を生もう」とした。それ以前3日には1面に「子どもの貧困対策基金—政府・民間資金で新設へ」という記事を掲げている。ほっておけない子供の貧困について考えます。

4月1日からは「生活困窮者自立支援法」が実際に福祉事務所設置自治体の事業として実施されています。新しい法律・事業について担当者や議員の知りたいことに応えるセミナーです。

主催：（公財）埼玉県地方自治研究センター

後援：県労評会館、自治労埼玉県本部

参加申込書

氏 名	住 所	所 属	連 絡 先 TEL

当日参加もできますが、できるだけ事前に埼玉自治研センターまでFAXで申し込み下さい。

FAX 048-836-1113